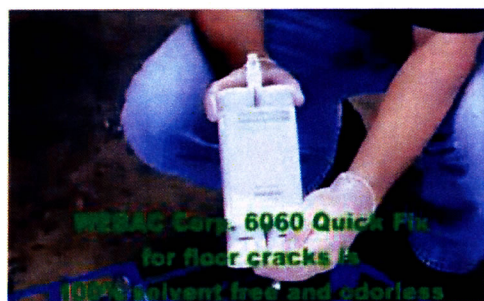
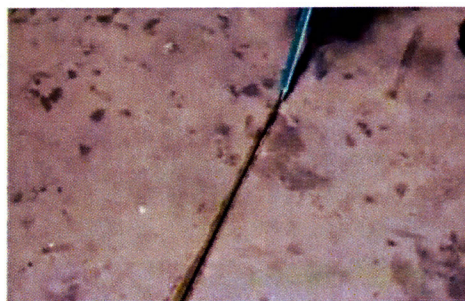


コンクリート床ひび割れ補修材 使用方法



カートリッジの保管期限

未開封カートリッジの保管期限は製造後1~1.5年です。できるだけ摂氏30度以下の暗い場所に保管してください。
製造年月日はカートリッジ表面の英文ラベルにロット番号(LOT#)が記載されています。
最初の4桁が製造年
次の1桁または2桁が製造月
その次の2桁が製造日
その他の数字とアルファベットは製造番号となっています。



砂の混入

圧縮強度を高めたい時には塗布中に砂をふりかけるように混ぜてください。砂の粒の大きさは12から60程度で水分を含んでいないものを使用してください。砂の量はポリウレシア1に対して1をお薦めします。(ひび割れが大きく、強度がそれほど必要ない場合、砂の量を2にしてポリウレシアを少なく済ませることができます。)
なお、屋外の補修には紫外線の影響を受けないシリカ砂を使用してください。



用意

6060カートリッジ、ダブルコーキングガン、静的ミキサー、ラテックス製手袋、スクレーパー(又は電気グラインダー)を用意してください。
6060カートリッジは使用する前に1分間程度よく振ってください。

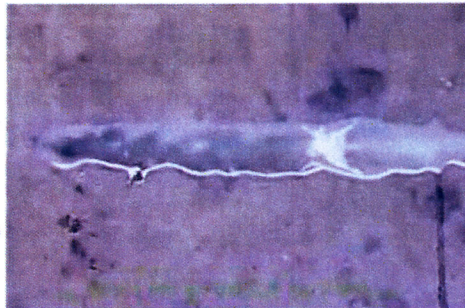
準備

ラテックス製手袋をしてから、6060カートリッジのキャップを外し、内蓋をマイナスドライバーなどで取り外し、静的ミキサーを取り付けてください。

そして、カートリッジをダブルコーキングガンに取り付けてください。キャップを外してから3-6分以内に使用してください。

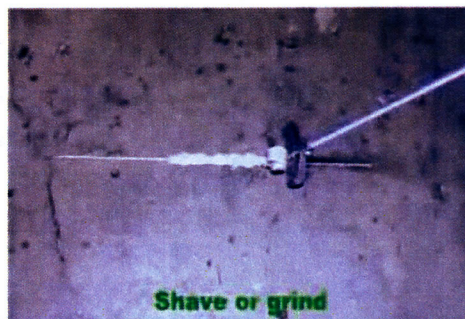
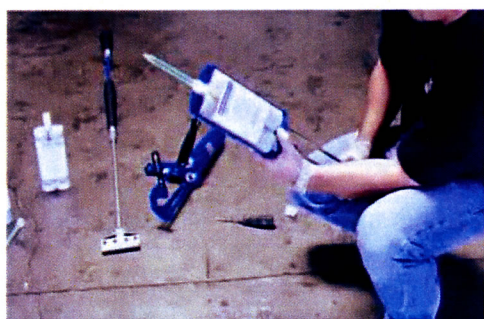
接着強度を保つために補修・充填箇所は油分やほこり、ゴム、コンクリートのかけらなどを取り除いてきれいにしてください。(古いひび割れの場合、油がこびりついてしまっており取りにくい場合には多少接着強度は落ちますので、それをご承知の上、充填してください。)

また、ウエバック6060 QuickFixは水分に多少反応しますので、補修場所は乾かし、セメントの粉も圧縮空気で吹き飛ばしてください。
新設のコンクリート床に使用する場合には1ヵ月以上経ってからにしてください。



充填終了

充填が終わった状態が左の写真のようになります。
硬化中に浸透が進むことにより、ポリウレシア面がコンクリート面より低くなった場合には硬化終了後にポリウレシアを追加してください。



余分な材料の除去

充填が終わり、生乾きの状態(スクレーパーがベタつかない程度)の時には鋭いスクレーパーで写真のように切り取ってください。10分以上経って、硬化している場合には電気グラインダーで平らに削り取ってください。

硬化終了

充填10分後には車両が通行可能な状態になります。

カートリッジの取り扱い

硬化時間が早いので、3-4分注入を中断する場合には静的ミキサー内のポリウレシアも硬化してしまいますので、静的ミキサーを新しいものに交換してから、注入を再開してください。

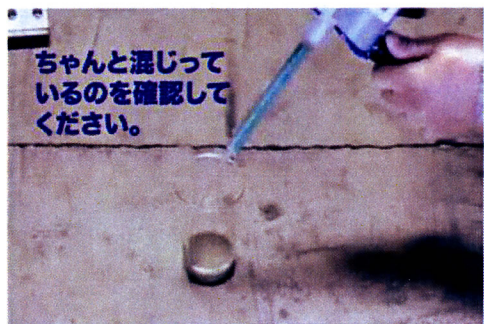
カートリッジ内の液剤が残った場合には注入後すぐに静的ミキサーを外し、内蓋とキャップをしっかりと取り付けてください。そうしますと3-4週間後は残りの液剤を使用することができます。その場合にも静的ミキサーは新しいものを使用してください。

安全とご注意

作業員以外の人に触れないようにしてください。また、直接、皮膚や目に触れないようにしてください。常にラテックス製手袋をして作業をしてください。万が一、皮膚に当たった場合には石けんで完全に洗い流してください。皮膚が刺激を受けたり、目に入ってしまった時には医師の診察を受けてください。

保証

正しく使用した上で製品に欠陥があると認める場合は無償交換します(但し、製品の価格以上の損害賠償は含まれていません)。



確認

コーキングガンのレバーを引き、2液が静的ミキサーの中で十分に混じり合いながら、出て来るのをカップなどに注ぎながら確認してから、作業を開始してください。

充填

ひび割れや継ぎ目の底の部分まで届くようにしみ込ませて、同じ箇所を数回にわたって塗布し、コンクリート面に盛り上がるようにしてください。

ひび割れの底が非常に深い場合やコンクリートの裏側に大きな空間がある場合には細かな砂を最初に入れておいて下さい。ポリウレシア樹脂材料の無駄を防ぐとともに強度のアップが図れます。

